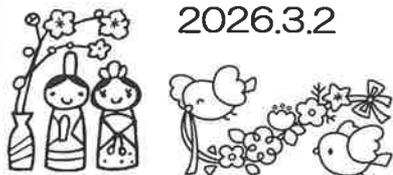


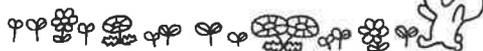


ゆりかご 園だより

2026.3.2



あっという間に3月となり、どの子どもも成長した姿を見せてくれることを本当に嬉しく思います。本年度も残り1ヶ月となりますが、子どもたちが気持ちよく次のステージに向かっていけるよう保護者の皆さまと手を携えて最後の1ヶ月を過ごしていけたらと思います。“



ゆりかご保育園では四期の中心活動のことを表現活動と称していますが、保育園での1年間の取り組みは広い意味において子どもたちの体験を通じた表現活動であると思っています。運動会は一期、二期で取り組んだ関係づくりと体づくりを基盤に置いた身体表現ですし、つくってあそぼうは子どもたちの手指の活動を通じて創造性を発揮する表現活動です。もちろん、これらのベースとなる体験は日々のあそびの中にあります。

四期に行われる表現活動は一期から三期までの取り組みの中で培ってきた子どもの力を劇づくりの中で友だちと一緒に表現する喜びを味わうことがねらいです。大きいクラスでは、役を演じ切ることで集団の中で自分の役割を全うする責任、自分のことだけではなく皆でひとつのものを作り上げる喜び、見られることへのためらいや恥ずかしさをどうやって乗り越えていくかなど個々の子どもたちが持つそれぞれの得意不得意を結集させて「みんなで作った劇を見てもらいたい」という気持ちにつなげていってほしいと願っています。2歳児、3歳児は大人による相應のサポートが必要になってきますが、一つずつ表現の楽しさを感じていってほしいと思います。

子どもたちの劇は3月5日のぞうさんとの『お別れ会』で見せ合う予定ですが、そこに至るまでに、子どもたちがどんなことを乗り越えてどんなものを作り出していくのか今からワクワクしています。お別れ会が終わりましたら、お子さんたちの話をたくさん聞いてあげてください。